

持続可能な原材料調達 連続セミナー

第2回 植物油脂（パーム油と大豆油を例に）

日時： 2006年6月27日 14:00～17:00

場所： 環境パートナーシップオフィス会議室

主催： 地球・人間環境フォーラム

協力： FoE Japan、WWF ジャパン、グリーンコンシューマー研究会、グリーン・フォワード、サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)、日本環境ジャーナリストの会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、標準により消費者の利益を増進するコア・グループ(NCOS) (ABC/50 音順)

日本は、世界有数の資源消費国であり、多くの資源がさまざまな形で発展途上国から輸入されています。本来、原材料の調達にあたっては、日本国内だけでなく生産地における環境・社会配慮が欠かせないはずですが、複雑なサプライチェーンや情報の不足から、これらの問題は必ずしも消費国で認識されていないのが実情です。私たち消費者がより安いものを求め、企業がそれを提供することに注力すればするほど、原材料生産にあたって必要な環境社会配慮の費用が支払われず、そのツケを払うのは、環境問題や社会問題で被害を受ける現地の人々ということになりかねません。企業の社会的責任が問われる今こそ、集積された過去の事例に学び、国として、企業として、原材料調達の問題に戦略的に取り組むことが重要です。

本連続セミナーは、私たちの身近な食や住まいなどに使用されている一次産品がいったいどこから来るのか、どのような環境社会影響が生じるのか、また、それを解決するための企業の取り組み事例について紹介します。

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 14:05-14:35 | 1. 持続可能なパーム油と大豆油とは？
満田夏花 / 地球・人間環境フォーラム |
| 14:35-15:10 | 2. パーム・プランテーションの現場から
峠 隆一 / ジャーナリスト |
| 15:10-15:25 | 3. コメント
足立直樹 / 地球・人間環境フォーラム、CSR 経営研究所 |
| 15:25-15:35 | ～休憩～ |
| 15:35-15:55 | 4. サラヤの取り組み
中西宣夫 / サラヤ株式会社 商品開発本部商品企画室 |
| 15:55-16:30 | 5. エコ燃料の落とし穴～地域産バイオマスにこだわるわけ
泊みゆき / バイオマス産業社会ネットワーク |
| 16:30-17:00 | 6. ディスカッション |

司会・進行：根津亜矢子 / 地球・人間環境フォーラム

第2回 植物油脂(パーム油と大豆油を例に)

～ 講演者略歴 ～

峠 隆一(とうげ・りゅういち) / ジャーナリスト

マレーシアの熱帯林には、1989年から20回ほど通っている。著書に、熱帯林の先住民の生活を描いた「9つの森の教え」(1994年、築地書館)、マレーシアのプランテーションでの児童労働を描いた「過酷な世界の天使たち」(2000年、共著、角川書店)、プランテーション問題を総括した「アブラヤシプランテーション開発の影」(2002年、共著、JANNI)など。

足立 直樹(あだち・なおき) / 地球・人間環境フォーラム客員研究員、(株)CSR経営研究所取締役。理学博士 東京大学理学部卒、同大学院理学系研究科修士課程、博士課程を修了。1995年から2002年まで国立環境研究所で熱帯林の研究に従事。1999年から3年間マレーシア森林研究所へ派遣。帰国後独立し、先進企業の環境経営のコンサルティングに携わると同時に、国土館大学の非常勤講師、東京大学21世紀COEプロジェクト特任研究員などを経て、2004年から(株)CSR経営研究所取締役。現在は特に、「企業と生物多様性」および、「アジアのCSR」の二つのテーマに力を注いでいる。

中西 宣夫(なかにし・のぶお) / サラヤ株式会社商品開発本部 商品企画室研究調査員

2000年8月、日本国際民間協会の(NICCO) - JICA 開発パートナーシップ事業のプロジェクトマネージャーとしてヨルダン国シューナ郡に派遣される。2003年7月、任期満了後帰国。現在、大阪大学人間科学研究科博士前期課程在籍中。2004年11月よりサラヤ株式会社 商品開発本部 商品企画室 研究調査員としてボルネオ環境保全事業を担当している。

泊 みゆき(とまり・みゆき) / バイオマス産業社会ネットワーク

NPOバイオマス産業社会ネットワーク(BIN)理事長。日本大学大学院国際関係研究科修了。(株)富士総合研究所で10年以上、環境問題、社会問題のResearchに携わる(2001年に退職)。1999年、バイオマス資源の社会的・生態的に適正な利用促進を目的とする「バイオマス産業社会ネットワーク」を設立、共同代表に就任。2004年、NPO 法人取得に伴い、理事長に就任。主な著書に、『バイオマス産業社会』(共著、築地書館)、『アマゾンの畑で採れるメルセデス・ベンツ』(共著、築地書館)他。バイオマス情報ヘッドクォーター推進検討委員会委員、バイオマス利活用普及啓発推進事業検討委員会委員他。

満田 夏花(みつた・かんな) / 地球・人間環境フォーラム

地球・人間環境フォーラム主任研究員。国際協力機構(JICA)環境社会配慮審査会委員、明治学院大学非常勤講師。2001～2004年国際協力銀行(JBIC)環境審査室に勤務。現在は、「発展途上国における企業の社会的責任(CSR in Asia)」、「国際金融機関の環境社会配慮」、「原材料調達のグリーン化支援調査」などに従事している。

<今後のセミナー予定>

第3回 鉱物資源 7月25日(火) 14:00～17:00

(「鉱山資源の生産における環境社会影響」「事例研究～ニューカレドニア、ニッケル鉱山開発」など)

第4回 木材と木材製品 9月26日(火) 13:30～17:00

(「グリーン購入法改定後の取り組み」「富士ゼロックスの取り組み」など)

第5回 金融 10月下旬予定

第6回 企業の取り組み事例 12月上旬予定

問合せ先

地球・人間環境フォーラム (担当:根津亜矢子) Tel. 03-3592-9735 E-mail: bwa15929@nifty.com
http://www.gef.or.jp/seisakuteigen/genzairyous_seminar2006.htm